



2004.2.29

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
民主党愛知県総支部連合会
名古屋市東区泉1-12-34
セントラルアベニュー1223 9F
電話 052-951-7881



[名古屋都市高速道路問題対策会議](#) / [民主党愛知県総支部連合会・第5回定期大会](#) / [次代を担う人材を養成するジャパン・リーダーズカレッジ開講](#) / [若い力で市政を変える！新人市議会議員の紹介](#) / [インフォメーション](#) / [編集後記](#)

名古屋都市高速道路の通行料金値上げ凍結と 公社経営改革を求める運動を展開！！ 愛知県知事・名古屋市長・公社に対し、申し入れを実施

3月29日からの名古屋高速道路料金の値上げ実施予定に伴い、民主党愛知県連は『名古屋都市高速道路問題対策会議』を設置し、この間議論をすすめている。委員長に島 さとし(衆議院議員・県連政調会長)、事務局長に高木 ひろし(県議会議員)が就任し、衆議院議員・参議院議員・県議会議員・名古屋市議会議員の12人が構成メンバーとなり、対策会議を3回に渡り開催した。1月23日夕方、愛知県知事および名古屋高速道路公社に対し、1月26日には名古屋市長に対し、値上げ凍結と公社経営改革の申し入れを実施した。

申し入れでは、「名古屋高速道路公社の料金を当面凍結し、整備計画を最小コストで完成するまでの間に、利用者本位の公社経営改革を実現する」を基本に、(1)新規建設コストの制御、「建設費五千億円から四千億円へ減少」(2)償還期間の延長と債務借り換え、「建設費の償還期間を現行の40年から50年に延長し、低金利資金に借り換える」(3)管理費の大幅削減、「料金所の原則無人化、公社のスリム化・人件費の削減、民間の人材・手法の導入により管理費の大幅削減」などを求めた。

この申し入れにもとづき2月6日(金)15:10より、3者から回答書の受け渡しが民主党愛知県連にて行われ黒川節男(県議会議員・県議会団長)、うかい晴美(名古屋市議会議員)が代表して受け取った。回答の評価は、「料金値上げ凍結」については何ら明言していないが、ETC導入に伴う短距離割引や将来の料金抑制については一定の前進がみられた。「経営改善計画」の再改定には、われわれのコスト削減の提案が相当程度取り入れられているが、債務の借り換えや償還期間延長など、国との交渉を要する問題には踏み込めていなかった。しかし外部監査の制度化を検討することは一定の評価に値する。

これらの判断から今後の対応については、2月議会を通じて、国の道路公団改革に劣らぬ公

社改革の実を挙げるため、最後まで粘り強く論戦を展開する。ただし、愛知県、名古屋市の取り組み経過と、議会内の立場の差異を考慮し、両議会での具体的議会对応はそれぞれの会派に一任する。中間的課題として、今後の建設・路線併用に伴う料金認可や予想される「整備計画」の改定に際して、料金問題が再浮上することは必至である。これに備え県・市議会代表を含む「公社改革委員会」の設置を、重ねて県、市に対し要望することとした。また県連内に、「名古屋高速道路改革推進本部」(仮称)を設置し、このもとで、国会、県会、名古屋市会それぞれにおける取り組みと県民運動を推進・調整していくこととした。

2月20日には改めて公社・県・名古屋市に対して、今後料金値下げを含めた方針の明確化と、県議会及び名古屋市議会の代表を構成メンバーに含めた「公社改革委員会」設置などの要望書を手渡した。回答期限は3月8日。この回答を受けて最終的な方針を固める予定。



民主党愛知県総支部連合会・第5回定期大会 2004年度 新役員決定

2月22日(日)13:00より名古屋・通信ビルにて第5回定期大会が行われた。今大会では、県連代表の任期が現行の1年から2年に改正され、新役員が選出された。(関連記事は次号)

= 新役員一覧 =

1. 四役および幹事

◇代表	古川元久	衆議院議員
◇代表代行	近藤昭一	衆議院議員
◇副代表	牧義夫	衆議院議員
◇副代表	伴野豊	衆議院議員
◇副代表	佐藤泰介	参議院議員
◇副代表	木俣佳文	参議院議員
◇副代表	黒川節男	県議会議員
◇副代表	おくむら文洋	名古屋市会議員
◇幹事長	松山登	県議会議員
◇副幹事長	早川良行	名古屋市会議員
◇総務局長	片桐清高	県議会議員
◇経理局長	渡辺房一	名古屋市会議員
◇選挙対策委員長	大塚耕平	参議院議員
◇同副委員長	杉岡和明	県議会議員
◇同事務局長	諸隈修身	名古屋市会議員
◇政策調査会長	前田雄吉	衆議院議員

◇同 副会長	高 木 ひろし	県議会議員
◇同 副会長	服 部 将 也	名古屋市会議員
◇組織局長	水 野 豊 明	県議会議員
◇自治体議員フォーラム代表	黒 川 節 男	県議会議員(副代表兼任)
◇労働局長	住 田 宗 男	県議会議員
◇県民運動委員長	渡 辺 まさし	県議会議員
◇男女共同参画委員長	うかい 春 美	名古屋市会議員
◇同副委員長	高 橋 正 子	県議会議員
◇広報委員長	田 中 里 佳	名古屋市会議員
◇幹 事	角 田 重 和	連合愛知・事務局長

2. 顧 問

◇常任顧問	佐 藤 観 樹	衆議院議員
◇常任顧問	赤 松 広 隆	衆議院議員
◇顧 問	河 村 たかし	衆議院議員
◇顧 問	小 林 憲 司	衆議院議員
◇顧 問	岡 本 充 功	衆議院議員
◇顧 問	古 本 伸一郎	衆議院議員
◇顧 問	中 根 康 浩	衆議院議員
◇顧 問	島 さとし	衆議院議員
◇顧 問	鈴 木 克 昌	衆議院議員
◇顧 問	都 築 讓	衆議院議員
◇顧 問	直 嶋 正 行	参議院議員

3. 会計監査

◇会計監査	原 田 信 夫	県議会議員
◇会計監査	杉 山 ひとし	名古屋市会議員

[▲
top](#)

受講生
募集中

次代を担う人材を養成する
ジャパン・リーダーズカレッジ開講

2月13日(金)15:30より県政記者クラブ会見室にてジャパン・リーダーズカレッジ(略称:JLC)記者会見が行われ4月25日(日)に開講すると発表した。大塚 耕平氏(参議院議員)が理事長

に、小田桐勝巳氏(前連合愛知会長)が学長、後 房雄氏(名古屋大学法学部教授)がカリキュラム委員長に就任している。講座は1年間を通じて月1回(第4週土曜)を予定し、会場は交通の便がよい名古屋市内の公共施設を利用する考えである。

また3月7日(日)14:00から、アイリス愛知にて説明会「JLCは何をめざすか」を開催する。応募締め切りは3月19日。

問い合わせは、民主党愛知県連内ジャパン・リーダーズカレッジ

TEL 052-951-8171 FAX 052-951-0016

■創立の趣意(抜粋)

天文学的な財政赤字が国や地方を圧迫し、国民の未来への展望を閉ざしています。経済の動脈である金融機関は疲弊し、日本経済の基礎を支える中小企業の活力を奪いつつあります。日本経済の再生・復活への道は険しいと言わざるをえません。改革のスローガンはもはや陳腐化し、人々が政治に希望を託すことを諦めかけています。そのこと自体が日本の危機です。しかし、その一方で日本に培われた先端的で創造的な技術力は脈々と生きてきます。また「政治の世界」においても地域主義による分権型社会、自律的な市民主導型システムへの転換の息吹も感じられます。日本にはまだまだ潜在力があり、復活と変化の胎動が始まっているのです。私たちはこうした認識のもとに、日本の再生を担う次代の人材を「政治の世界」に送り出したいと願っています。「政治の世界」とは、選挙で選ばれる公職者たちだけの集まりを意味しません。各層、各界、各地域のオピニオンリーダーである民主的な人材の広い裾野全体が私たちの考える「政治の世界」です。「政治の世界」で本当のリーダーシップを発揮できる人材が求められています。今日の政治の貧困をもたらしている一因として、これまでの政治文化や政党システムにおいて、次代を担う人材を育成する教育機能、トレーニング機能が欠落していたことがあげられます。私たちは、そうした反省の中から『ジャパン・リーダーズカレッジ』(略称:JLC)を創立することの必要性を痛感しました。

JLCという新しい試みが日本の希望と改革に結びつく力となることを期待してやみません。

■受講のお誘い

2004年4月、民主党は新たな試みとして「ジャパン・リーダーズカレッジ」(略称:JLC)を開講する運びとなりました。新しい社会をリードできる人材を養成する場、それがJLCです。私たちは「趣意」で述べましたような思いから、JLCの準備を昨年秋にスタートさせました。今日まで各界のトップリーダーや、知の最先端をリードする方々に講師陣としてご快諾、ご内諾をいただきました。JLCは「カレッジ」と称してはいますが、建物や資産を持つ有形の学校ではありません。講師陣をはじめとする多くの方々のご協力のもとで、様々な世代、様々な立場の受講生の皆さんとともに、「学びの間」、「研鑽の場」、「気づきの場」を創っていく人的なネットワークと考えています。私たちは受講生の皆さんのご期待に応えられるように、誠意を持ってJLCの準備、運営にあたり、有意義な時間をともに過ごさせていただきたいと願っています。初年度第1期生は50人を定員とし、月1回を基本とする1年間のカリキュラムを予定しています。時代の転換期に多くの人材を輩出したかつての「松下村塾」のように、幅広い分野からのご応募を心からお待ちしております。

ジャパン・リーダーズカレッジ理事長
ジャパン・リーダーズカレッジ学長
ジャパン・リーダーズカレッジカリキュラム委員会

大塚 耕平
小田桐克巳
後 房雄

もっとジャパン・リーダーズカレッジを知りたいあなたに

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/jlc>

▲
[top](#)

若い力で市政を変える！

＝ 新人市議会議員の紹介 ＝

私自身にとって初めての選挙、おかげさまで11,527票をいただき、初当選を果たすことができました。これもひとえに民主各級議員の皆様をはじめ、党員の皆様からの絶大なるご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。皆様からいただいた期待の重さをずっしりと感じています。民主党公認候補としての期待に沿えるよう、これからも全力を尽くして頑張ります。今後ともご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私は、古川元久代議士の秘書として、4年半勉強してまいりました。その中で、常に市民からの信用・信頼を第一とし、市民の目線で行動する姿、政治活動を誠実に継続して行い、市民の報告する諸先輩方の真摯な姿を目の当たりにしてきました。私も、その政治姿勢を見習い、信に足る政治家を目指し全力で頑張っています。

特に今回の選挙では、市民の皆さんの目が、議員が自らの襟を正すことができるかどうかという部分と、赤字体質の解消に集まっていることを強く感じました。透明で公正な制度の下、効率的・効果的な市政づくりに全力で取り組みます。

いよいよ議員生活が始まりました。初心を忘れず、皆様から託された想いを、政治の場にしっかりと反映させてまいります。



名古屋市議会議員(名東区)
ちかざわ 昌行

経歴:1970年10月5日生まれ。愛知教育大学附属名古屋小・中学校卒業。名東高等学校卒業。日本大学法学部法律学科卒業。1999年7月より衆議院議員 古川元久秘書。

現在:1月18日市議会議員補欠選挙にて当選。

事務所:〒465-0025 名古屋市名東区上社2-166
カトウレジデンス4B
TEL052-771-1234FAX1010

▲
[top](#)

インフォメーション

□ 首長選挙の推薦

豊田市 鈴木公平、現1期(2月1日告示、2月8日投票)

選挙結果は・・・105,234票を獲得し当選 投票率46.03%

□ 議員の入党

豊川市議会議員 鈴木 彰伯

□ 民主党愛知県連 新規職員の採用

林 大地

経歴:1971年3月26日生まれ

平成3月3日 名古屋デザイン専門学校印刷デザイン科 卒業

平成15年8月 株式会社 ぽど名古屋営業所 退社

平成15年12月13日 愛知県連幹事会にて承認 本年1月1日採用

[▲
top](#)

編集後記



1月号よりプレス民主を担当させて頂いております。2月22日には、第5回定期大会が開催されました。3月号にて大会模様をご案内出来ればと思います。今後ともよろしくお願ひします。

愛知県連事務局 林 大地

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp

[▲
top](#)

